

奄美群島地域おこし協力隊サポートネットワーク

群島内各地で活動する地域おこし協力隊と受入自治体を支援するネットワークとして、地域おこし協力隊OBOG有志が集い令和6年3月に「奄美群島地域おこし協力隊サポートネットワーク」（以下、奄美SNW）を立ち上げました。

群島内の各自治体及び隊員の皆様におかれましては、地域おこし協力隊制度が地域振興に資する有意義な施策となります様、「奄美SNW」を積極的にご活用頂けますと幸いです。

設立背景

地域おこし協力隊は、県内約140名、群島内では約30名の隊員が、様々な地域振興策をミッションに活動しています。総務省は、令和8年度10,000人を目標に積極的な活用を推し進めていますが、地域との協働や隊員の活躍には、隊員はもとより受入自治体への支援体制の拡充が必要な状況となっています。

令和元年には、鹿児島県内全域を支援する体制として、「地域おこし協力隊サポーターズ鹿児島」（以下、サポーターズ鹿児島）が発足しましたが、本土とのアクセス面など有人離島を多く抱える本県の特性を鑑み、奄美群島各自治体での活動を支援する組織として「奄美SNW」の発足に至りました。

サポーターズ鹿児島とも連携を図りながら、群島内の協力隊制度の支援活動を進めてまいります。

目指す方向性

◆ミッション（使命）

奄美群島に招き、招かれる挑戦者たちのマッチングを支える

◆ビジョン（あるべき姿）

地域おこし協力隊の活用によって幸せになる人達が増える島

◆バリュー（行動指針）

- ・私たちは、徹底的に出口（隊員の任期後）に向き合います
- ・私たちの経験則に縛られた主観を取り払い、常に客観性を保つ支援を心がけます
- ・私たちは、互いの島を支え合う結いの精神を重んじます

奄美SNWが貢献できること

◆効果的な募集企画づくり

応募が集まり、受入側とのミスマッチを抑止する最大の工夫は徹底した出口戦略を意識した募集企画づくりです。募集企画ノウハウ習得に取り組んだメンバーで、効果的な企画づくりをお手伝いします。

◆組織的な伴走支援

隊員のミッションや受入自治体の状況に合わせて、適切な支援方法についてメンバーで協議を図りながら、課題に対して客観性と当事者性を保てる様、2名体制を基本とした伴走支援で対応します。

◆交流会や報告会などの企画支援

隊員の交流会や、地域や関係者に活動を報告する機会など、横連携や活動周知を後押しする機会作りを通してより一層、協力隊活動が充実していくような企画づくりをお手伝いします。

◆自治体職員向け研修の訪問開催

役場庁舎に訪問して、各自治体の状況に合わせた協力隊受入基礎研修などの開催を承ります。

組織概要

各離島での活動を私たち（奄美群島OB・OG）が連携して、サポートいたします。



ご相談はこちら

地域おこし協力隊の日々の活動をサポートする経費への特別交付税措置など、年々、地方財政措置が拡充されておりますので、支援業務のご依頼に際しては、ご活用をお勧めしております。（参照：[地域おこし協力隊推進要項](#)）
まずは、お話をお伺いできればと思いますので、お近くのメンバーへお気軽にお問い合わせください。

メールアドレス：amami.oko.net@gmail.com